

近畿歴史まちづくりガミット in 湯浅を開催しました



パネルディスカッションと会場の様子



堺市、向日市、湯浅町の三都市対談



歴史まちづくりカードお披露目



各都市の歴史まちづくりパネル展示

近畿地方整備局、湯浅町が主催となり歴史まちづくりに取組む京都市、彦根市、長浜市、宇治市、向日市、堺市、奈良市、斑鳩町、和歌山市、湯浅町、広川町、天理市、近江八幡市の13都市が集まり、11月24日（土）に湯浅町で歴史まちサミットを開催しました。

基調講演では「歴史まちづくりによる観光振興の展望」と題してマンガ家の里中満智子先生に歴史と観光についてご講演いただきました。パネルディスカッションではコーディネーターに脇浜紀子さん、パネリストに里中満智子先生、和歌山大学副学長の足立基浩先生、大和ハウス工業の木下健治さんらを招き、上山町長を含めた5名で「歴史的な町並みで日本ならではの体験を」

をテーマに歴史まちづくりに取組む都市の歴史、文化、伝統を活かした取組みを発表していただき、まちの個性や魅力を引き出すための次の一手についての議論が行われました。

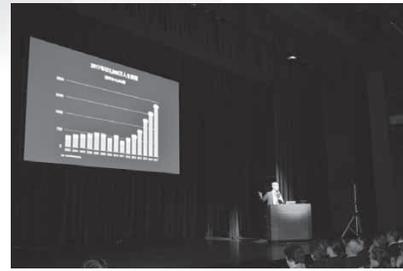
そして、中部地方では既に人気となっている、歴史まちづくりカードの近畿版のお披露目イベントでは脇浜紀子さんをプレゼンターに、24日より近畿の歴史まち認定都市において配布されるカードの紹介が行われました。

三都市対談では、堺市の狭間副市長、向日市の安田市長、湯浅町の上山町長と三都市が一同に会し、「都市の歴史を個性に」をテーマにそれぞれのまちの個性を活かした今後の取組みについて発信しました。

観光セミナー及びびんポジウムを開催しました！

12月18日（火）ケランフロント大阪にて10時30分からゆあさ地方創生観光まちづくりセミナー、14時から湯浅「美味しい日本遺産」まるごと体験シンポジウムを開催しました。

当日、観光セミナーには約200名、シンポジウムには約300名の方々にご参加いただきました。観光セミナーでは、外国人観光客をターゲットにした観光のノウハウについての基調講演や湯浅の



株やまところ代表取締役兼インバウンド戦略アドバイザー 村山 氏による基調講演

醤油が世界中に広がったルートを「醤油ロード」と名付け、世界に発信していくために出来ることについてのパネルディスカッションを行い、シンポジウムでは、観光未来予想図としてこれからの観光事情についての対談や「食」で日本遺産に認定された各地を連携させることで生まれる魅力などについてパネルディスカッションを行いました。



和歌山大学副学長 足立 氏、フリーアナウンサー 川田 氏、村山 氏、上山町長によるトークセッション



足立 氏と川田 氏による対談



福井県小浜市 松崎市長、近茶流齋家・柳原料理教室副主宰 柳原 氏、足立 氏、川田 氏、上山町長によるパネルディスカッション



セイバー ジャパン 農林水産省のSAVOR JAPANに湯浅町が認定されました

これをきっかけに湯浅町を全国に発信し、「見る・聴く・香る・味わう・触れる」五感で体験できるまちなみとして、これからも多くの人に湯浅町を訪れてもらい、湯浅町の魅力を知ってもらいたいと願っています。